

新入生のみなさんへ

～全学連新入生歓迎パンフレット～



昨年4月に行われた4・25法大解放総決起集会時のデモの様子

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

敗戦後まもない1948年

戦争に対する激しい怒り

生きんがための必死の思い

これらが重なりあうなかで全学連は誕生しました。

そして再び「戦争と革命の時代」を迎えた今日、

私たち学生の闘いがこれまでにないほど求められています。

このパンフレットをご覧になったみなさんが、学生運動に決起されることを願ってやみません。



全学連委員長
斎藤郁真(法政大)



全学連書記長
坂野陽平(上智大)

全日本学生自治会総連合

MAIL mail_cn001@zengakuren.jp

TEL 03-3651-4861

HP <http://www.zengakuren.jp/wp/>

全学連の闘う仲間たち



法大闘争が真価を発揮する時代

法政大学文化連盟委員長 武田雄飛丸(国際文化学部)

「一人の仲間も見捨てない」「教育の民営化粉砕」を掲げ絶対反対で8年にわたり闘い続けられてきた法大闘争が、ますます真価を発揮する時代がやってきました。大恐慌と国際争闘戦に追い詰められ、戦争と改憲に突き進む安倍政権が、成長戦略の一環として掲げているのが「大学改革」です。その中身は教育再生実行会議の第3次提言で明らかにされているように、総長独裁と教授会自治の最後の解体、産官学連携を掲げた大学の極限的新自由主義化であり、「全国大学の法大化」に他なりません。ゆえに私にかけられた「無期停学」処分は全学生にかけられた攻撃です。

だからこそ処分撤回闘争と法大闘争の爆発は現場で安倍政権の国策を叩きつぶし、大学から社会全体を変える壮大な展望を秘めています。全学生は4・25法大へ！

東北大学学生自治会は安倍打倒に立つ

東北大学学生自治会委員長 青野弘明(医学部)

私は沖縄の基地に反対するビラを受け取ったことをきっかけに学生運動を始めました。

去年は、国と東電を免罪するためにつくられた福島県民健康管理調査検討委員会に東北大学から送り込まれた御用学者・室月淳を弾劾する闘いをやりぬきました。

学生自治会は労働者にとっての組合のようなものであり、必要不可欠なものです。東北大では反戦・原発を一つのものとして、安倍打倒の闘いにたつとともに、学内で当局と徹底的に闘い抜きます。学生運動の最先端である法大にも駆けつけます。



学生の力に限界はない

全学連副委員長 京大同学会委員長 大森靖之(薬学部)



京大は今、安倍政権による「大学改革」攻撃との攻防の焦点となっています。「大学改革」とは、「総長権限の強化」などを通じて、安倍政権と一体となり、戦争・原発推進を担う人材をつくりあげる政策に他なりません。昨年12月私たちは、総長選挙を廃止しようとする動きに対し、座り込みなどを行い、これを食い止めました。現在は、総長の国際公募との対決となっています。

法人化以降、大学の変質が進行しましたが、一方では、闘いも起こってきました。法大の闘いは、何人もの逮捕者を出しながら、闘いの中で、学生の力に限界はないということを証明してきました。4月25日はともに法大にかけつけよう。



御用学者・新自由主義大学と闘う自治会を

全学連副委員長 広島大学学生自治会委員長 百武拓(理学部)

被爆地広島にありながら、原発事故以降、福島の人々を切り捨てた立場に立った広島大学。この大学のあり方に怒りを感じ、学生運動をはじめました。御用学者・神谷研二や経営協議会に巣食う三菱重工元会長・佃和夫を弾劾する闘争などを行ってきました。

現在世界では新自由主義が蔓延しています。その新自由主義を推し進める一部の資本家が大学でも私たちの学問を牛耳っています。これに対抗するためには、学生自治会が必要です。

4月25日、国家中枢を揺るがすような闘いを法大でやろう。

全国に拡大する 全学連の団結と闘い

以上に紹介した大学の他にも全国に全学連の団結と闘いが拡大しています。

放射能汚染下の**福島大学**では、政府による福島切り捨てとそれと呼応して行われる学生弾圧に対し、不屈に闘ってきました。また、放射能から子どもと地域住民の命と健康を守る「ふくしま共同診療所」とも連携し、声を上げてきました。

沖縄大学は、「基地と非正規の島」の現実が授業まで支配する中で、学生自治会建設にむけて前進しています。

法政大と肩を並べるほどの苛烈な弾圧と闘う**富山大学**。自治会室の閉鎖や自治会解体などと対決するとともに、北陸の反原発運動を牽引し、闘陣形を拡大しています。

他にも**三里塚現地行動隊**を結成し、48年にわたって「国策」成田空港建設に反対し続ける農民とともに、現地で闘っています。



12年10月に行われた福島大集会



12年12月完成した
ふくしま共同診療所

コラム 世界の学生の闘い



カリフォルニア大バークレー校の総長に就任したナポリタークオバマ政権下の国土安全保障長官の来校に抗議し、大学占拠とデモ
2月13日 写真左)



中台サービス貿易協定に反対し、立法院を学生が先頭に数百人が占拠(3月18日 写真上)

安倍政権打倒へ！



昨年10月19日の国会デモ

ウクライナでの政権打倒とそれに対するクリミア半島のロシアへの併合—この事態が象徴するように時代は、民衆の闘いと支配の崩壊、戦争の危機が折り重なって進み始めています。

日本における安倍打倒の闘いこそが、この事態を止揚し、新たな社会の突破口となる闘いです。

◆とめよう戦争への道！

～秘密保護法・集団的自衛権・「防衛装備品移転」

安倍政権は対米対抗性をむき出しにしながら、戦後憲法を足蹴にし、「戦争のできる国」へと突き進んでいます。

昨年末に制定された秘密保護法は、集団的自衛権を容認し、本格的な戦争にのりだす動きと一体です。

また、「武器輸出3原則」を破棄し、「防衛装備品移転3原則」と名称を変え、武器輸出を積極的に推進し、軍需産業を育成しようとしています。



ベトナム戦争は、「南ベトナム政府の要請」を理由に、集団的自衛権を行使するという形で全面的に開始。

写真は、カンボジア国境付近を進行する米軍ヘリと南ベトナム兵士

◆福島切り捨て 原発再稼働反対！ 解雇・外注化・非正規化反対！ だからオリンピックには反対します！



安倍政権は、戦争への道のみならず、あらゆる政治反動に打って出てきています。

とくに、オリンピックを契機として、放射能汚染による健康被害の隠蔽、原発再稼働、国家戦略特区の制定による雇用破壊などに突き進んでいます。

安倍政権の反動的突出はなぜ起きているのか。世界大恐慌と新自由主義の崩壊が、支配のあり方を揺るがしているからです。今こそ安倍政権を倒すチャンスです！

武器輸出三原則と新たな原則案

武器輸出三原則 (1967年)	防衛装備品移転 三原則(案)
以下の武器輸出を認めない	●国際的な平和と安全の維持を妨げることが明らかな場合は輸出しない
● 共産圏諸国	● 輸出を認め得る場合を限定し厳格審査
● 国連決議で武器輸出が禁じられている国	● 目的外使用や第三国移転は適正管理が確保される場合に限定
● 国際紛争の当事国とその恐れのある国	

「大学改革」粉碎を！

改憲・戦争をはじめとする政治反動に打って出る安倍政権は、「大学改革」と称し、「総長権限の強化」などを通じて、国策を推進し、自らの意のままになる人材をつくりだそうとしています。

京大総長の国際公募をはじめとして、攻撃は激しく始まっています。全学生が学生自治会の下に団結し、大学から声をあげることが、政府を揺るがし、天下国家をつくりかえる壮大な意義を持つ時代に入ってきているのです。



◆御用学者を許さない

8国立大への電力・原子力業界からの過去5年間の寄付金総額

東京大	約5億6000
東北大	約4億1700
名古屋大	約2億5100
京都大	約2億1200
東京工業大	約1億 400
九州大	約8300
大阪大	約7900
北海道大	約3800

※単位は万円

左の図は、電力会社からの資金によって大学がどれほど牛耳られていたかを如実に示しています。

3・11福島第一原発事故は「原子カムラ」の中枢に位置する大学の腐敗を暴きました。

しかし、原発事故を経てもなお、大学はその変質を深めています。特に重要なのは、福島での健康被害の実態を押し隠す御用学者の存在です。これまで「100万人に1人」と言われていた小児甲

状腺がんが、現在福島県内では、約25万人調べて、疑いも含めれば74人も発生しています。何があろうとも、政府と電力会社の責任を小さくしようとするその試みは、もはや学問と呼ぶに値しないのではないのでしょうか。

◆学生の未来を奪う大学

大学の原発と戦争への加担。しかし事態はそれだけではありません。「学費・就活・奨学金」の三重苦が学生を追い詰めています。

高校入学から大学卒業まで平均1055万かかると言われる学費。この学費をまかなうための奨学金は今や高利子ローンと化しています。



そして現在の就職難。このような状況の中で学生の競争があおられ、孤立化を強いられ、11年度には、1000人を超える学生が自ら死を選んでしまう現実があります。

今こそ、学生が団結して。一つになり、声を上げるときです。

全国大学に学生自治会を建設しよう！

13年度 全学連闘いの日々



逮捕をはねのけて闘った
4・25法大集会



5月沖縄闘争にて
名護市内デモ（上）と辺野古での集会（下）



8・6ヒロシマ大行動

年間スケジュール

- 4月 法大集会
- 5月 沖縄闘争
- 6月 国鉄闘争全国運動集会
- 8月 8・6広島大行動
8・15 改憲阻止集会
- 9月 全学連大会
- 10月 法大集会
三里塚全国集会
- 11月 全国労働者総決起集会
訪韓闘争
- 12月 全学連拡大中央委員会
- 3月 反原発福島行動
三里塚全国集会

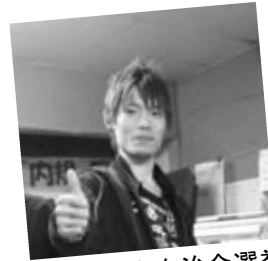
他にも各大学の自治会選挙など闘いが目白押し！
ともに熱き闘いの日々を！



7月広大でついに学生自治会再建（上）
6月京大では大森執行部樹立（下）



学生運動のリーダーへの飛躍を誓い合った
9月全学連大会



12月東北大自治会選挙
あおの体制確立



労働者の団結が世界を変える！ 新自由主義打ち破る
11・3全国労働者総決起集会



2月都知事選。鈴木たつおさん支
援に立ち上がった



戦後学生運動の金字塔
2月「暴処法」弾圧で無罪戦取



あきらめられるか 忘れられるか
3・11反原発福島行動



約50年におよぶ国策との闘い
3・23三里塚集会

☆大学の主人公は学生だ
 ☆武田君への無期停学処分撤回
 ☆「暴処法」無罪とったぞ! 法政大学は謝れ!



〔とき〕
 4月25日(金)
 12時〜

〔ところ〕
 法政大学市ヶ谷キャンパス
 正門前

〔よびかけ〕
 4・25法大集会実行委員会

4・25法大解放 総決起集会

5月17日(土)
 11時 県庁前集合
 ~ひめゆり資料館見学
 16時 那覇市国際通りデモ
 18時
 労働者・学生総決起集会

5月19日(日)
 午前~昼
 普天間基地・嘉手納基地見学
 18時 全国学生集会

5月19日(月)
 集会など

沖縄闘争2014



☆辺野古新基地建設阻止! オスプレイ撤去!
 日米安保粉碎!
 ☆改憲・戦争に突き進む安倍政権を打倒しよう!
 ☆学生自治会を甦らせすべての基地と原発をなくそう!